



事業案 食料支援

学ぶ

- ・地域の医療専門家をクラブに招き、地域社会で飢えに苦しんでいる人々の数とその影響について、クラブ会員に教えてもらう。

行動する // 初級

- ・労力、設備、または食料を提供することで地域のフードバンクを支援する。
- ・地域における食料支援関連のボランティアの機会に関する資料リストを作り、地区内の他のクラブと共有する。
- ・ソーシャルメディアを利用して、地域内の児童の欠食に関する認識を高め、他者に参加を呼びかける。
- ・地元の学校、公民館、教会などで健康的な食事を出す行事を主催する。基調講演者として栄養士を招く。
- ・高齢者、障害者、または病気の地域住民に、栄養のある食事を作って届ける。
- ・炊き出しをしたり、**無料食堂やホームレス保護施設で食事を提供する。**
- ・栄養不良の児童に微量栄養素粉末を配布する組織に寄付を行う。
- ・小学校の教室にさまざまな果物や野菜を持っていく。生徒たちに食品がどこからくるかを説明し、多様な産物を味わってみよう促す。

行動する // 中級

- ・「拾い物グループ」にボランティアとして参加し、農園や果樹園で摘み取られていない果物や野菜を収穫する。
- ・食料品店や市場を回るツアーを主催し、栄養士から参加者に、健康で栄養のある食料品を選ぶためのヒントを教してもらう。
- ・**フードバンクと協力し、地域で最も必要とされている食品を集中的に集める地域フードドライブを実施する。**
- ・お金をかけずに簡単に作れる健康的な料理のレシピ本を書く。
- ・地元の学校と協力し、食料の必要な児童が週末に持って帰ることができるよう、栄養のあるスナックを詰めたバッグを用意する。
- ・青少年を対象とした料理教室を主催し、健康的に暮らすための基本的な料理のスキルを学ばせる。
- ・食事の献立と量に関するオンラインの情報源を設けることで、家庭での食品の無駄を減らせるようにする。

行動する // 上級

- ・地域社会における食品へのアクセスについて調査を行う。必要とされている地域で選択肢を増やすか改善するよう、自治体のリーダーに働きかける。
- ・妊婦や母親になったばかりの女性を支援し、彼女たちが授乳できる快適・安全・清潔な場所を地域内に確保する。
- ・職業上の人脈を生かして、余剰食品を役立てることに興味を持つ食品産業のリーダーとフードバンクを結び付ける。
- ・学校で授業が行われない休暇の期間に貧しい学生に食料を提供するプログラムを設ける。
- ・食料が不足している近隣の住民のために、地域または学校菜園を設ける。
- ・食料品店の存在しない地域に毎週農産物の直売所を設ける。
- ・個人や家族が食料品店、フードバンク、無料食堂と行き来できるよう、ボランティア輸送プログラムを立ち上げる。
- ・畜産プログラムを設けて、数家族が少数の家畜を受け取れるようにする。家畜の子孫の一部を近隣の家族に提供することで、プログラムの持続的な拡大を可能にする。

